

【議 事】

1. ボランティアセンターの運営状況について【資料 No.1】

(1) ボランティアセンター上半期事業報告について

資料 P1～4 に基づき事務局より説明し、意見聴収した。

資料 1

ボランティアセンター上半期事業報告 (平成30年4月1日～9月30日)			
事業	内容	日時	参加者数
第1回ボランティア・市民活動団体分科会	【定例会の開催】 ボランティア団体の意見交換ができる場として開催しました。事務局より情報提供を行いました。	4月20日(金) 13:30～15:00	15名
第2回ボランティア・市民活動団体分科会	【勉強会の開催】 ”共生”をテーマに「みんなの学校」を視聴し、意見交換をしました。	6月22日(金) 13:30～15:00	14名
第3回ボランティア・市民活動団体分科会	【勉強会の開催】 ”認知症”をテーマに勉強会を実施しました。 ・DVD「認知症と共に生きる」視聴 ・認知症予防について (講師: 鶴見区高齢・障害支援課職員)	9月20日(木) 13:30～15:00	14名
つるみ サマーフレンド2018	学齢障害児の夏休み期間中の余暇支援を目指し「つるみサマーフレンド」を開催しました。また、参加するボランティアの育成を行いました。	<ボランティア研修会> 7月21日(土) <余暇支援> 7月23日(月) ～8月21日(火) 全16コース	<ボランティア研修会> ボランティア43名 <余暇支援> 障害児 68名 (延86名) ボランティア66名 (延87名)
横浜商科大学 ボランティア活動演習	横浜商科大学1・2年生の授業の一環として、ボランティアに関する授業を実施し、履修の調整を行いました。(ボランティア実習に関しては、20時間のボランティア活動を行い、活動の記録・コメントの記載を行っています。)	6月22日(金) 16時20分～17時50分 (5時限目) 以降、7月12日(木)から各施設にて活動。	20名
ボランティア強化月間	新規ボランティア登録者、既存の登録者、依頼先について、ボランティアセンターをさらに活用してもらう為の動機づけとして、期間中の相談者には記念品を配布。	7月23日(月) ～8月31日(金)	11名1団体
福祉教育	【矢向中学校】 1年生を対象に認知症、誘導、点字、音声訳、手話、盲導犬の授業を行いました。 <講師> 矢向地域ケアプラザ、 認知症キャラバンメイト 鶴見ブラインドメイト「ワルツ」 手話サークル連絡会 盲導犬ユーザー 【獅子ヶ谷小学校】 6年生を対象に高齢者理解の授業として、車イス体験と高齢者疑似体験を行いました。 <講師> 寺尾地域ケアプラザ	【矢向中学校】 7月3日(火) 【獅子ヶ谷小学校】 7月6日(金)	【矢向中学校】 生徒:243名 【獅子ヶ谷小学校】 児童:133名

区社協ボランティア関係事業報告書(平成30年4月1日～9月30日)

(1)単発依頼(送迎活動を含む)

単発	依頼件数	紹介件数	調整中	調整つかず	取り下げ	紹介人数	調整数
児童	6	4	1	1	0	10	20
障害	17	7	7	2	1	22	38
高齢 (おおむね65歳以上)	6	4	1	1	0	22	11
外国人	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	1	1
合計	30	16	9	4	1	55	70

(2)継続依頼(送迎活動を含む)

単発	依頼件数	紹介件数	調整中	調整つかず	取り下げ	紹介人数	調整数
児童	5	2	2	0	1	4	9
障害	15	3	12	0	0	3	13
高齢 (おおむね65歳以上)	25	11	14	0	0	37	38
外国人	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	1	1	0	0	0	1	2
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	46	17	28	0	1	45	62

(3)ボランティア登録者

①新規登録者数(平成30年度分)		②累計登録者数(～平成30年9月末)	
区分	件数・人数	区分	件数・人数
グループ(団体数)	4	グループ(団体数)	98
グループ(会員数)A	29	グループ(会員数)A	2288
個人(男性)	10	個人(男性)	138
個人(女性)	25	個人(女性)	259
個人(男女合計)B	35	個人(男女合計)B	397
合計 A+B	64	合計 A+B	2685
H29年度	87	H29年度	2611

【ボランティアコーディネーターにおける課題】

・夏にボランティア強化月間を設け、11名1団体の新規登録があったが、強化月間のポスターを見て来所した人は2名であった。PRIに力を入れてボランティアセンターの周知をしていく。

・ボランティア活動希望者にすぐに活動を紹介できるようにボランティアコーディネーターの増加を目指す。

①新規登録者(平成30年度)

福祉	話相手	1名
	一時保育・遊び相手	1名
	外出付き添い	1名
	送迎	0名
	介助	0名
	家事援助	0名
	生活援助	1名
	施設での手伝い	11名
	技術提供(福祉系)	0名
	環境・まちづくり・災害	0名
その他	イベント手伝い	4名
	技術提供(その他)	8名
	その他	0名
決めていない	18名	

②累計登録者(～平成30年度末)

福祉	話相手	87名
	一時保育・遊び相手	38名
	外出付き添い	42名
	送迎	16名
	介助	19名
	家事援助	24名
	生活援助	14名
	施設での手伝い	84名
	技術提供(福祉系)	26名
	環境・まちづくり・災害	36名
その他	イベント手伝い	113名
	技術提供(その他)	106名
	その他	23名
決めていない	170名	

質問・意見

・大野委員長

ボランティアの担い手から見ても個人ニーズが少ない。ボラセン等窓口の敷居が高く思えるのだろうか。ニーズに対してボランティアが足りていないというわけではない。

・星野副委員長

依頼側の条件の高さが担い手不足に影響しているのではないだろうか。

・星野副委員長

単発の依頼件数は例年に比べて減少傾向か？または例年並みか？

→今年度の傾向を確認し、第3回運営委員会で報告する。

(2) ボランティアセンター下半期事業計画について

資料 P5 に基づき事務局より説明し、意見聴収した。

ボランティアセンター下半期事業予定 (平成30年10月1日～平成31年3月31日)		
事業	目的・内容	開催時期
ボランティア・市民活動分科会	【定例会の開催】 団体が意見交換できる場として、また事務局からの情報提供の場として開催します。	平成30年11月15日(木) 平成31年1月17日(木) 2月21日(木) 3月22日(金)
大掃除のポイントとコツ”伝授”します講座	ホームセンターの方を講師に呼び、年末に向けた大掃除のポイントとコツを伝授していただく講座を開催します。また、講座のなかで、家の掃除などの日常生活に関わるちょっとしたボランティアの紹介をボランティアセンターからします。	12月1日(土)
あいねっと推進フォーラムでのボランティアコーナー	広く鶴見区民にボランティア活動の情報提供や善意銀行などについて普及啓発を行い、ボランティア活動者の発掘を目的に実施します。	平成31年2月23日(土)
平成30年度鶴見・おもしろゼミナール	魅力ある鶴見をつくるためのまちづくりに関する講座を区役所と開催します。	平成30年12月～平成31年3月
福祉教育	学校・企業・地域などからの依頼に基づき、プログラムの提案や講師の紹介をします。	随時
横浜商科大学ボランティア活動演習	7月下旬からのボランティア活動の振り返り授業を行います。	平成31年1月31日(木)
福祉教育連絡会	学校・ボランティア団体・関係機関を呼び、区内で実施可能なプログラムの紹介、福祉教育における課題等の共有・意見交換、情報提供などを行います。	未定

質問・意見

・大野委員長

12月1日の大掃除講座は現在何名の申込みがあるか？

—10月15日現在、23名の方の申込みがある。

地区社協には周知しているか？

—鶴見区社協広報誌の「福祉つるみ」、タウンニュース、広報よこはま鶴見区版に記事を掲載し、周知をしている。地区社協への直接の周知は行っていない。

2. 鶴見区ふれあい助成金、つるみ善意銀行助成金配分について 【資料 No.2】

資料 P6 に基づき事務局より説明し、意見聴収した。

資料 2

【新規立ち上げ】6月申請				
NO	区分	合計	団体名	会員種別
1	集いの場	40,000	ピンピン体操ポピーの会	非会員
申請事業	新規立ち上げ事業 集いの場			
目的	楽しく体操しながら筋力維持・健康増進を目指す。レクやコグニサイズなどをまじえて、参加者同士の交流を深める。			
年間実施回数	24回（毎月2回）			
人数平均	26名			
場所	下末吉憩いの家			
※「鶴見区ふれあい助成金運営要綱」 抜粋 （助成の決定） 第8条 ボランティアセンター運営規程第12条に基づき、行うものとする。ただし、新規立ち上げ事業については、配分委員会において審査せず、会長決裁とする。				
【修繕】9月申請				
NO	区分	合計	団体名	会員種別
2	修繕	18,000	NPO法人 雑貨工房 みらい	会員
申請事業	修繕			
目的	テーブルを窓にぶつけて、窓が破損。ガラスの入れ替えのための修繕費用を申請。			
修繕時期	10月中旬実施予定			
場所	NPO法人 雑貨工房 みらい			
※「鶴見善意銀行運営要綱」 抜粋 （助成の決定） 第8条 ボランティアセンター運営規程第12条に基づき、行うものとする。				
【辞退】6月辞退				
NO	区分	合計	団体名	会員種別
3	集いの場	50,000	NPO法人 はなはなひろば	会員
申請事業	新規立ち上げ事業 集いの場			
目的	毎週金曜日に貧困家庭の子、独居老人の孤食をさせないために、子ども食堂を実施する。			
年間実施回数	36回			
人数平均	36名			
場所	NPO法人 はなはなひろば			
辞退理由	はなはなひろばは、横浜市の補助事業として「親と子のつどいの広場」を運営しており、はなはな広場として「こども食堂」の活動をするのは適当でないと判断して、辞退の申し出があった。			

質問・意見

・星野副委員長

6月に配分を辞退したNPO法人はなはなひろばについてはどのように処理をしたのか？
一辞退の申し出を受けて返金していただいた。

・星野副委員長

他の助成金を受けているとふれあい助成金を受けられないということであれば、ヒアリングの際に気をつけた方がよい。

3. 善意銀行の配分預託状況について 【資料 No.3】

(1) 預託配分状況について

資料 P7 に基づき事務局より説明し、意見聴収した。

資料 3

3. 善意銀行の預託配分状況について						
(平成30年4月1日～平成30年9月30日)						
1. 預託金額		4月～9月		10月～3月		合計
受付区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉	18	284,451			18	284,451
障害福祉	0	0			0	0
児童福祉	0	0			0	0
高齢者福祉	0	0			0	0
寄付小計	18	284,451	0	0	18	284,451
(参考)						
	件数	金額				
29年度同時期(9月末)	25	228,863				
29年度末合計	71	2,327,408				
2. 30年度9月末 善意銀行残高						
29年度繰越金		12,905,019				
30年度預託金額(収入)		284,451				
利息		69				
30年度配分金(支出)		-1,700,800				※30年度ふれあい助成金配分金として
差引残高		11,488,739				
3. 30年度 予定される配分について(見込み)						
事業名		金額				
鶴見区ふれあい助成金(新規立ち上げ)		40,000円(1件あたり)				
つみ善意銀行助成金(備品修繕・GH立ち上げ)		備品修繕: 200,000円(1件あたり) (うち18,000円支出予定) GH立ち上げ: 100,000円(1件あたり)				
送迎サービス		外出支援: 516,000円、 区社協送迎: 330,000円(年度当初予算)				

質問・意見

・佐藤委員

寄付は下半期に増えてくる傾向なので、現段階では言い切れないが、減少傾向のように思える。声掛けをしていく必要があるのではないか。

・小林委員

寂しい額という印象。どうしたら増えていくか考えていかななくてはいけない。

(2) 寄付履歴詳細（現金）について

資料 P8 に基づき事務局より説明した。

(3) 物品寄付および配分先について

資料 P9 に基づき事務局より説明した。

4. その他

・今後の開催について

第3回ボランティアセンター運営委員会の開催日時について以下の日時を提案し、承認された。

平成31年2月18日（月） 10:00～12:00